

自転車安全運転教室・町老人クラブ

8月21日（金）、鶴田町公民館駐車場および鶴遊館で、鶴田町老人クラブ連合会（寺山禎英会長）の会員50人が参加して、五所川原警察署が主管する「高齢者のための自転車安全運転教室」が開催されました。

教室では、五所川原警察署交通課の指導のもと、まず幅約70cmの道を自転車で真っ直ぐ進む体験、飲酒した状態を疑似体験できる特殊メガネをかけての投げたボールを受け取る体験、信号のある交差点での正しい右折の仕方などの説明が行われ、自転車に乗る際のマナーやルールの指導が行われました。

また、警察署から参加者全員に自転車用「反射材」が渡され、さっそく自分の自転車に取り付けて、参加者全員が安全運転を誓っていました。



飲酒の疑似体験ができる特殊メガネ



△皆さんなかなか真っ直ぐに進みません



9/8 五所川原地区少年防犯弁論大会

9/4 西北五中学校英語弁論大会

9/7 坂本定吉さんへ100歳のゴールドメダルが授与される



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

中学生が職場を体験・鶴田中学校

9月1日（火）、2日（水）の2日間にわたり、鶴田中学校（稲場締男校長）1学年140人が、町内のさまざまな職場に行き、実際に労働を体験する「職場体験学習」が行われました。

1日（火）の朝、指導する職場の方からのお話が終わるとさっそく職場での「仕事」が始まりました。町内の商店や飲食店、スーパーや役場・消防署など職種によって仕事の内容は違いましたが、それぞれの職場で緊張しつつも生徒たちは一生懸命仕事に取り組んでいる様子でした。

体験した2日間で、生徒の皆さんは「労働」の大変さを知り、それと同時に仕事に対してのやりがいも感じていたようです。少しだけ大人に近づいた体験学習のようでした。

がんばれ！鶴中生



写真左上、お菓子屋さんにて販売実習／左下、ガソリンスタンドにて洗車作業／右、消防署にて降下訓練を体験

和太鼓宇宙（SORA）が慰問公演

8月22日（土）、関東に活動拠点を置く和太鼓演奏チーム宇宙（SORA・そら）が鶴松園で慰問公演を行いました。

宇宙の皆さんは、「東北ライブツアー」の活動の中で、8月20日（木）～22日（土）まで町の各所で公演を行い、前日の21日には湖水荘で慰問公演を行いました。

公演は、和太鼓に横笛やキーボードを取り入れた「日本のまつり」を思わせる演奏で、心に響く力強い演奏に、入所している皆さんから惜しめない拍手が送られていました。なお、メンバーの一人、仙波修子さん（キーボード担当）は当町出身で、町での公演は、今年で3年目を迎えたそうです。



入所者からは温かい拍手が



△粋な和太鼓の音が会場内に響き渡る



△水元中央小学校では、「リンゴ栽培」の学校支援ボランティア

学校支援ボランティアが一堂に集まる

8月22日（土）、鶴田町公民館および体育センターで青森県教育委員会・鶴田町教育委員会共催の「平成21年度西北地区学校支援ボランティア研修交流会」が開催され、西北地区の学校内で児童たちにさまざまな指導を行っている16団体と関係者120人による交流が行われました。

交流会では、むつ市第一川内小学校支援コーディネーター春藤千秋さんの実践発表が行われ、その後



中泊町では「琴の指導」の団体も

公民館と体育センターを施設いっぱいを使い、見本市（メッセ）形式で西北管内の学校支援ボランティア団体による発表会が行われました。

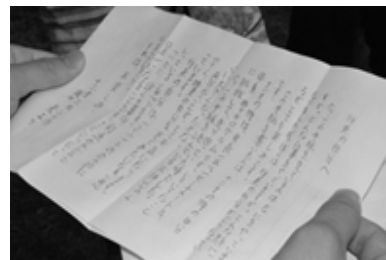
8年前にタイムスリップ・梅沢地区

8月15日（土）、今年度成人を迎える梅沢小学校の卒業生が、「大人になったら開ける」とみんなで約束していたタイムカプセルを地中から掘り出し、箱のふたが開けられました。

中には、20歳になった自分にあてた手紙、通信簿、工作や習字、カセットテープなど懐かしい品々が入っており、照れ笑いしながらも当時の思い出に浸っていました。

このタイムカプセルは、当時の父母が、学級担任だった鈴木章弘先生にお願いして作った物で、プラスチックの衣装ケースをビニールと木材、最後はトタンで囲って標柱たてて埋めていました。

当時へ一瞬タイムスリップできた夢のある出来事に、集まった卒業生たちはみんな胸を熱くしていました。



△タイムカプセルの中からは自分への手紙（写真右上）や当時作った工作（右下）などが出てきました。